

# 選択科目問題紙

2025年2月6日

12:40～13:40 (60分)

## 答案作成上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙の中を見てはいけません。
2. 選択科目は次のとおりです。

科目名	ページ数	通しページ	科目コード
日本史探究	日本史 1 ～ 日本史 12	1 ～ 12	日本史探究→ア
世界史探究	世界史 1 ～ 世界史 9	13 ～ 21	世界史探究→イ
地理探究	地理 1 ～ 地理 16	23 ～ 38	地理探究→ウ
政治・経済	政・経 1 ～ 政・経 13	39 ～ 51	政治・経済→エ
数 学	数 学 1 ～ 数 学 4	53 ～ 56	数 学→オ

3. 解答用紙は、記述解答用紙綴り（科目別）とマーク解答用の解答シートの2種類です。
4. 監督者の指示にしたがって、解答シートには受験番号、氏名を記入するとともに、受験番号をマークし、さらに受験科目欄に選択した科目名を記入した上で、選択した科目のコードをマークすること（裏表紙の例示を参照のこと）。
5. 試験開始後、監督者の指示にしたがって、記述解答用紙綴りから選択した科目の解答用紙をはずして、受験番号と氏名のシールを貼付すること。
6. 問題紙・解答用紙に印刷の不鮮明なところなどがあった場合には、監督者に申し出ること。
7. 【記述解答】の表示がされている問いについては、記述解答用紙の指定の箇所に解答すること。
8. 問題文中または文末等に、 の表示がされている問いについては、解答シートに解答すること。  
 中の数字が解答シートの解答列番号に対応しているため、例えば  ① と表示のある問いに対して10と解答する場合には、解答列1の  10 にマークすること。
9. 解答シート 解答上の注意事項
  - (1) 解答は、必ず鉛筆（F、HB）を使用すること。
  - (2) シートは汚したり、折り曲げたりしないこと。
  - (3) 一つの解答列に二つ以上マークしないこと。
  - (4) マークが正確にされていない場合には採点されることがあります。
  - (5) 訂正するときは、プラスチック製の消しゴムを用いて消し残りのないように消し、消し屑を残さないこと。
10. 試験時間終了まで退室してはいけません。

## 日本史探究 (2月6日)

〔問題紙は 日本史 1 から 日本史 12 までの12頁です。〕

**問題 I** 次の1~8の文章をよく読んで、事実誤認のない文章と、歴史的に考察して筋が通っており、そう考えることもできる文章を四つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。【記述解答】(順番は問わない)(配点 24)

- 1 化石人骨の研究の進展により、人類はアフリカ大陸で出現し、猿人・原人・旧人・新人の順に進化したことがわかる。日本列島では、猿人・原人の化石は発見されておらず、旧人・新人と推定される化石が少数ながら出土している。そして旧人の遺伝子を強く受けついでいるのは、北海道のアイヌの人々や沖縄の人々であるとする説が有力である。新人の遺伝子を強く受けついでいるのは、北九州・四国や本州西部の弥生人であるとする説も有力である。現代日本人は更新世・完新世以来の様々な人々の遺伝子を受けついでいる。
- 2 中国大陸における農耕文化の成立は、紀元前約1万年前と推定されている。それはやがて周辺地域に波及し、日本列島でも水稲耕作に基づく弥生文化が成立した。弥生時代は前期・中期・後期に3区分され、前期には磨製石器が様々な道具の中心であった。中期には青銅器が農具や武器の主流となり、後期には鉄器が普及した。鉄器は農業生産を倍増させたが、武器としても石器・青銅器をはるかに凌ぎ、弥生時代後期は激しい戦いの時代となった。『漢書』地理志には、「桓・靈の間」(147~189年)、「倭国大いに乱れ、こもごも更相攻伐して歴年ぬし主なし。」と記されている。この動乱を終息させたのが邪馬台国の卑弥呼であった。
- 3 弥生時代は、有力な集落と集落が互いに防御をかためて激しく戦う、中世の戦国時代にも似た所のある時代だったようである。古墳時代に入ると、村と村が戦うことはなくなっただけで、大古墳を造営する豪族と豪族が、相手の領域を占領・併合するために戦う、ということもなかったようである。古墳時代中期の被葬者の武人的性格や、副葬された鉄製武器・武具の多さにもかかわらず、豪族と豪族の激しい戦いはなかったらしい。やはり、ヤマト政権が列島の広大な地域に政治的な影響力を及ぼし、時には指導的

な役割を果たし、「大王の力による平和」とでも表現すべき状況を作り出していた、と推定することが可能であろう。

4 6世紀の朝鮮半島においては、南下する高句麗に圧迫された百済や新羅が、南に領土を広げた。倭との関係が深かった加耶諸国は、百済や新羅の支配下に入り、ヤマト政権の影響力は後退した。しかし強大な帝国である隋が出現すると、東アジアは激動の時代に入る。隋の朝廷の人々は、かつては朝鮮半島の一部が楽浪郡・帯方郡として中国の領土であったことを忘れてはいなかった。楽浪郡を滅ぼした高句麗をはじめ、新羅・百済・倭国の支配者たちは、隋との関係において自国の進むべき方向を真剣に検討し始めた。倭国における冠位十二階の制定(603年)、憲法十七条の制定(604年)、そして倭の五王以来の、久々の中国との本格的な交渉である遣隋使の派遣(600年、607年)は、倭国なりに対応した、方向性の一例であった。

5 白村江の戦いに大敗し、百済と高句麗の滅亡を目の当りにした7世紀後半の倭国の指導者たちは、自国も滅亡するかもしれないという、深刻きわまりない心境にあった。国防のため防人や烽とぶひが置かれ、北九州や西日本の各地に朝鮮式の山城が築かれた。庚午年籍の作成(670年)も国防と無関係であったはずはない。兵士を大量に動員するには、戸籍のような人民登録簿が便利だったからである。天智天皇の子、大友皇子と天智天皇の弟、大海人皇子の対立(壬申の乱)も、単なる皇位継承の争いであると見るのは疑問である。両者には、天智天皇没後の倭国を、どのような体制の国家とするのか、という政治的対立もあった可能性がある。壬申の乱に勝利して即位した天武天皇の数々の事業を、大友皇子が天皇でも実行したことだと推定するのは疑問である。

6 8世紀後半、旧高句麗人によって渤海が建国された。渤海はやがて強力な王国となり、新羅や唐の北辺に圧力を加え始める。これは日本にとっては好都合なことであった。西日本防衛の負担から解放された律令国家の軍事力は北に向かう。蝦夷との50年に及ぶ戦争が始まる。光仁・桓武・嵯峨の三天皇、特に桓武天皇は東北での戦いに熱心であった。彼は長岡京・平安京の造営と並び、多賀城・胆沢城・志波城の建設を重視した。しかし、平城太上天皇との対立に悩んだ嵯峨天皇は、東北での戦争を中止した。嵯峨天皇の政治的関心は律令制度の改修に向かい、太政大臣・少納言・征夷大將軍などの令外の官を設置し、格と式の分類と編集にも着手した。

7 藤原基経の子、藤原時平は、宇多天皇に重用されていた菅原道真を策略によって政界から追放した。宇多天皇は時平を押さえて道真をかばうことができなかった。宇多天皇の父の光孝天皇は藤原基経の尽力で天皇になれたからであり、宇多天皇は阿衡の紛議以来、基経・時平父子のすることには常に遠慮していた。時平は藤原氏の権力を不動のものとした「功労者」であり、彼の子孫が摂政・関白になっていく。宇多天皇の子、醍醐天皇の代になってようやく、天皇は藤原氏の重圧から解放された。醍醐天皇は摂政・関白を置かなかった。醍醐天皇には、荘園整理令を出したり、『延喜格』『延喜式』の編纂、乾元大宝の発行など、後世に評価された治績が多い。

8 摂関家の上流貴族たちは、京を離れて遠方に旅行することはまれであった。奈良時代には、名門の貴族でも九州の大宰府の官人となり、国の長官(守)として地方に赴任し、時には遣唐使として渡海した。これに比較すると、摂関期の上流貴族たちの接する世界は狭かった。受領となって地方に赴任するのは中級以下の貴族たちであった。彼等は郡司たちを強く支配して強力な徴税を実現し、自身の収入も確保しつつ、天皇家・摂関家・大寺院などの財政を支えた。受領の中には巨利を求める強欲な者もあり、郡司や有力農民たちから訴えられることもあった。尾張守の藤原元命は、その典型である。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 26)

遣唐使の派遣が途絶えて以後は、日明貿易に至るまでは日中間には正式な国交は開かれなかった。しかしながら、両国間の商船の往来は継続して行われていた。11世紀後半以降、日本と高麗・宋との間で商船の往来が活発になる中、平清盛は日宋貿易を推進した。貿易の利益は、平氏政権の重要な経済的基盤になった。

元の時代になり、2回の元寇により両国間に政治的緊張は生じたが、それとは別に貿易船が派遣された。建長寺や天龍寺造営費用調達のため建長寺船・天龍寺船が元に派遣されたのはその一例である。

南北朝期に元の支配を排して  年に建国された明は、近隣諸国に通交を求めた。そうした明の意向を知った足利義満は、1401年に使者を明に派遣して国交を開き日明貿易が始まった。貿易は各国の使節が明に朝貢し、その返礼として品物を受け取るという形式がとられた。また、使節の真偽を調べる手段として明が交付した証票である  の持参が義務付けられた。

15世紀半ば以降日明貿易は幕府の衰退とともに、その実権は細川氏や大内氏の手に移った。貿易の主導権をめぐって両氏は激しく争い、両氏が派遣した船が中国の官民を巻き込む殺傷・放火事件を起こした。この争いに勝利した大内氏が以後貿易を事実上独占したが、16世紀半ばの大内氏の滅亡とともに日明貿易は断絶した。

問1 下線部(1)に関して、次の(i), (ii)の問いに答えなさい。

(i) 貿易推進のために修築した大輪田泊の所在国はどれか。最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。

1 安芸国    2 摂津国    3 播磨国    4 長門国

(ii) 宋からもたらされた品物のうち適切でないものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。

1 銅銭    2 陶磁器    3 刀剣    4 香料

問2 下線部(2)に関して、他の経済的基盤の一つとして知行国があった。次の知行国の説明のうち適切ではない箇所の語句を、下の1~4の中から一つ選びなさい。③

「知行国の制度とは、上級貴族や寺社に知行国主として一国の支配権を与え、その国からの収益を取得させる制度である。知行国主は子弟・近親をその国の郡司に任じ、現地には目代を派遣し国の支配を行った。」

- 1 (ア) 知行国主    2 (イ) 支配権    3 (ウ) 郡司    4 (エ) 目代

問3 下線部(3)の2回の元寇時の執権の名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問4 下線部(4)のような貿易船の一つと思われる鎌倉末期の沈没船が、1976年に韓国の沖合で発見された。その船は何と呼ばれているか。最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。④

- 1 東大寺再建沈船    2 興福寺再建沈船    3 倭寇沈船    4 新安沈船

問5 下線部(5)の天龍寺船派遣及び天龍寺の造営に直接関係しない人物を、次の1~4の中から一つ選びなさい。⑤

- 1 足利尊氏    2 夢窓疎石    3 足利直義    4 後嵯峨上皇

問6 空欄 A の明の建国年として最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。⑥

- 1 1392    2 1368    3 1334    4 1352

問7 下線部(6)に関して、この時派遣された正使の名を、解答欄に記入しなさい。

【記述解答】

問8 空欄 B に入る適切な語句を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問9 下線部(7)に関して、この事件の適切な名称を、解答欄に記入しなさい。

【記述解答】

問10 下線部(8)に関して、次の(i)～(iii)の問いに答えなさい。

- (i) 応永の乱で鎮圧された守護の名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】
- (ii) 16世紀半ばに大内氏は重臣陶晴賢に国を奪われる。「陶晴賢」の適切な読み方を、ひらがなで解答欄に記入しなさい。【記述解答】
- (iii) 陶晴賢を討ち周防・長門を領有した戦国大名の名を、解答欄に記入しなさい。

【記述解答】



問題Ⅲ 次の A ～ D の史料を読んで、後の問いに答えなさい。なお、史料は読みやすいように適宜改変したものもある。(配点 25点)

A 一、右、取りおかるべき刀・脇指、ついにさせらるべき儀にあらざ候の間、今度大仏御建立の釘・かすかひに仰せ付けらるべし。然れば、今生の儀は申すに及ばず、来世までも百姓たすかる儀に候事。

問1 A の法令以前の出来事として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。⑦

- 1 文禄の役    2 本能寺の変    3 慶長の役    4 小田原平定

問2 A の法令と同趣旨の政策として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。⑧

- 1 検地    2 国替    3 人掃令    4 バテレン追放令

問3 A の法令に関する説明のうち最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。⑨

- 1 大仏建立の費用調達が最大の目的であった。  
 2 戦乱が続いていたため、大仏建立により民心の安定をはかろうとした。  
 3 この法令の発布者は織田信長である。  
 4 一揆を防止し、百姓を耕作に専念させる意図があった。

B 一、文武弓馬の道、専ら相<sup>たしな</sup>嗜むべき事。

一、諸国の居城修補を為すといえども、必ず言上すべし。況<sup>いわん</sup>や新儀の構営、堅く<sup>ちようじ</sup>停止せしむる事。

問4 B の法令の名称として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。

⑩

- 1 一国一城令    2 元和の武家諸法度  
 3 寛永の武家諸法度    4 今川仮名目録



問5 参勤交代制が定められた時の将軍名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問6 大名を監察する幕府の職名を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

C 一、紫衣の寺，住持職，先規<sup>けう</sup>稀有の事也。近年みだりに勅許の事，且は臈次<sup>かつ ろうじ</sup>(注)を乱<sup>(1)</sup>し，且は官寺を汚し，はなはだ然るべからず。

(注)臈次：受戒後の修行年数により決まる席次

問7 下線部(1)に関して，紫衣の勅許をめぐる起こった事件により処罰された僧侶として最も適切なものを，次の1～4の中から一つ選びなさい。⑪

- 1 金地院崇伝    2 隠元    3 沢庵    4 契沖

問8 問7で述べられている事件により後水尾天皇は讓位するが，その後に即位した天皇名を解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問9 Cの法令の説明として最も適切なものを，次の1～4の中から一つ選びなさい。

⑫

- 1 寺院統制のための法令で，他の条項には本末制度が定められている。
- 2 僧侶統制を目的とした法令である諸宗寺院法度の一部である。
- 3 朝廷運営の基準となった禁中並公家諸法度の一部である。
- 4 禁中並公家諸法度の前身である公家衆法度の一部である。

D 身上よき百姓は田地を買い取り，いよいよよろしく成り，身体成らざる者は田畠を沽却<sup>こきやく</sup>せしめ，猶々身上成るべからざるの間，向後<sup>きょうこう</sup>田畠<sup>ちようじ</sup>売買停止たるべき事。

問10 Dの法令の適切な名称を，解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問11 Dの法令に関する説明として最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。⑬

- 1 田畑の細分化と商品作物の栽培を防ぐ目的があった。
- 2 富農への土地集中と本百姓の没落を防ぐ目的があった。
- 3 この法令で述べられている百姓は検地帳記載の水呑百姓である。
- 4 この法令は綱吉の時代に解禁となった。

問12 Dの法令の発令年を、解答欄に記入しなさい。【記述解答】

問13 A～Dの年代の範囲から外れる事件として最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。⑭

- 1 大坂の陣
- 2 島原の乱
- 3 由井正雪の乱
- 4 関ヶ原の戦い

## 問題Ⅳ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(配点 25)

1940(昭和15)年7月に発足した第2次近衛内閣は、日本・満洲国・中国に加えて、東南アジアをも勢力圏に組み込みながら資源の確保を図ろうとする「(ア)」構想を打ち出した。国内では、近衛を中心に政治、経済、文化など、あらゆる分野の革新をめざした運動が展開され、10月にはその指導的組織として(イ)が結成され、近衛自らその総裁となった。

日中戦争を契機とする日本の中国における軍事行動の拡大に反発したアメリカは、1939年7月に [a] の破棄を通告し、翌年に同条約は失効した。また1941年7月に発足した第3次近衛内閣が、すでに決定していた(ウ)進駐を実行すると、アメリカは在米日本資産の凍結と日本への石油の輸出を禁止することを決定した。

1941年9月6日の御前会議では、対立するアメリカとの交渉期限を10月上旬に区切り、交渉が成功しなければ対米(イギリス・オランダを含む)開戦に踏み切るという(エ)を決定した。日米交渉は難航し、交渉継続を主張する近衛首相と交渉の打ち切りと開戦を主張する東条陸相とが対立し、近衛内閣は総辞職して東条内閣が成立した。

東条内閣は、戦争準備を進めながら対米交渉を続けたが、11月26日にアメリカからハル=<sup>(1)</sup>ノートが届くと、交渉の継続は絶望的になり、12月1日の御前会議で開戦が決定された。

日本軍は、戦争の序盤では占領地を拡大して優勢であったが、1942年6月の [b] で大敗を喫し、その後の戦局は次第に日本軍に不利になっていった。

戦争の推移を見守りながら、連合軍首脳による戦争終結に向けた会議が重ねられた。1945年7月には、<sup>(2)</sup>ポツダム宣言が発表された。アメリカは、戦争の早期の終結と戦後に予想されるソ連との対立で優位に立つことを想定して、8月6日に広島に(オ)を投下した。8月8日には、ソ連が [c] を無視して満洲や朝鮮に侵攻した。そして日本政府は8月14日にポツダム宣言の受諾を連合国に通知した。

日本がポツダム宣言を受諾すると、日本本土にはアメリカ軍主体の連合軍が進駐し、<sup>(3)</sup>連合軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)が設置され、日本政府に占領政策の指令・勧告をおこなった。

占領政策の基本方針は、日本の非軍事化と民主化におかれた。非軍事化政策では、まず陸海軍が解体され、民間人の引き揚げもすすめられた。戦争協力者や超国家主義者なども<sup>(4)</sup>公的な地位から排除された。

# 日本史 11

問1 空欄(ア)～(オ)に入る適切な語句を、それぞれ解答欄に記入しなさい。

【記述解答】

問2 空欄 a に入る語句として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。 ⑮

- 1 日米修好通商条約      2 日米和親条約
- 3 日米安全保障条約    4 日米通商航海条約

問3 下線部(1)に関する説明文(A)、(B)について、正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。 ⑯

(A) 中国・仏印からの全面的無条件撤退を要求した。

(B) 満州国・汪兆銘政権の否認を要求した。

- 1 (A) 正, (B) 正
- 2 (A) 正, (B) 誤
- 3 (A) 誤, (B) 正
- 4 (A) 誤, (B) 誤

問4 空欄 b に入る語句として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。 ⑰

- 1 ソロモン海戦            2 マレー沖海戦
- 3 ミッドウェー海戦      4 レイテ沖海戦

問5 下線部(2)に関する説明文(A)、(B)について、正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選びなさい。 ⑱

(A) 交戦国であるアメリカ・イギリス・オランダ・中国の4か国の名前で発表された。

(B) 日本軍の無条件降伏勧告と日本の戦後処理方針がその主な内容であった。

- 1 (A) 正, (B) 正
- 2 (A) 正, (B) 誤
- 3 (A) 誤, (B) 正
- 4 (A) 誤, (B) 誤

問6 空欄  に入る最も適切な語句を、次の1~4の中から一つ選びなさい。

⑱

- 1 日ソ中立条約    2 日ソ基本条約    3 日ソ平和条約    4 日ソ共同宣言

問7 下線部(3)に関する説明文(A)、(B)について、正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1~4の中から一つ選びなさい。 ⑳

- (A) 東京には最高司令官の諮問機関である対日理事会がおかれた。  
(B) ワシントンに占領政策決定の最高機関として極東委員会がおかれた。

- 1 (A) 正, (B) 正  
2 (A) 正, (B) 誤  
3 (A) 誤, (B) 正  
4 (A) 誤, (B) 誤

問8 下線部(4)の政策を何と呼ぶか。適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

【記述解答】